

令和8年1月16日

保護者各位

宮城県迫櫻高等学校長

令和7年度学校評価アンケートについて

この度は、学校評価アンケートにご協力ください、誠にありがとうございました。別紙のとおり、集計結果をまとめましたので、ご覧ください。

学校行事や進路指導については、保護者の皆様にご理解いただきながら、計画通り実施できていることが伺えますが、交通安全指導やいじめの問題に対する取り組み等について、保護者の皆様と共有されていないところも多々見受けられました。各項目、精査しながら次年度の学校運営に生かしてまいります。また、自由記述においても、さまざまご指摘をいただきありがとうございました。以下に自由記述に対する所感を述べさせていただきます。

今年度の重点項目として元気な挨拶を掲げておりましたが、挨拶がなされていないとの記載がありました。挨拶は人間関係の基本となりますので、お互いに気持ちの良い挨拶を交わして学校生活を送ることができるよう、引き続き声掛けしてまいります。

いじめや盗難などの問題行動に対する不安や対応の仕方についてのご指摘がありました。生徒指導部を中心として、定期的なアンケート調査や校内巡回、年次集会など、問題行動の未然防止を最優先に全職員で実施しておりますが、残念ながら問題も発生しています。場合によっては、学校だけで対処するのではなく、警察の協力を得ながら対応しておりますが、今後も関係機関と情報共有を図りつつ、問題の早期解決に向けて取り組んでまいります。

職員の服務規律についてもご心配をおかけして申し訳ありませんでした。新聞やテレビで報道される不祥事について、常に自分事として捉えながら、全職員でコンプライアンスの遵守に取り組んでまいりますので、ご理解を賜りますようお願ひいたします。

また、昨年度と同様に、保護者の方による送迎時の運転マナーについてもご指摘がありました。安全な登下校のため、皆様のご協力をお願ひいたします。

一方で、親身になって接してもらい、子供が先生を信頼しているのが伝わってくるとか、大怪我をした時または不登校になった際に真摯に対応してくれて大変ありがとうございましたなど、励ましの言葉をいただき、私どももとても力をいただいております。心より感謝いたします。人生の中で悩み多き、疾風怒濤のステージを懸命に生きる生徒の皆さんと自分と向き合い、前進するため、保護者の皆様と同じ方向を見ながら見守ってまいります。

迫櫻に通うすべての生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるように、学習環境を整えることを最優先に考えて取り組んでいるところですが、まだまだ見直さなければならないことがあることを教えていただきました。これらのご指摘を真摯に受け止めて、改善に取り組みながら、生徒一人ひとりが学習に専念して、充実した学校生活を送れるように、教職員全員で心を込めて努めてまいります。今後とも変わらぬご指導とご協力をお願いいたします。